

011 イエス時代の背景



ガリラヤ Galilee (パレスチナの地名。ガリラヤ湖《周囲 53 km、南北に 21 km、東西に 13 km の大きさで、166 km² の面積を持つ。最大深度は 43m。海拔 マイナス 213m で、湖としては海拔 マイナス 418m の地表で最も低い死海につぐ海拔の低さ。ローマ帝国統治時代に用いられた「ティベリアス湖」とも呼ばれる》を含む、現在のイスラエル北部の地域とヨルダンの一部)の寒村 **ナザレ** Nazareth 出身の父大工ヨセフと母マリアの子としてユダヤの町 **ベツレヘム** Bethlehem に生まれたイエス・キリスト (Jesus the Christ) は成人するとヨルダン川でバプテスマのヨハネ (John the Baptist) から洗礼を受け、宣教活動を開始し、人々に神の国が近づいたことを教え、悔い改めることを訴え、神と隣人への限りない愛を説きました。当時のガリラヤ地方は、イスラエルの辺境であり、文



化的にも経済的にも貧しい田舎であった。また、当時のイスラエルは、神の選民として日々の暮らしをしていましたが、ローマ帝国の支配下であり、物質的な困窮や信仰上の試練等の多くの迫害を受けていた。イエスは、そのガリラヤ地方を起点として神の救いの教えを説きました。イエスの評判は、ガリラヤから **エルサレム** Jerusalem へと伝えられ、イエスの言葉に従う者が増えていく中で、イエスの働き場所もイスラエルの全域に広がっていきました。そして、イエスが神の子メシアであると信じた人々は、ユダヤ教から離脱して、キリスト教を世界に広めていきました。このように、イエスの教えは多くの人々を引きつけましたが、一方で当時の **支配者層の反感** を招き、政治的反逆者として処刑 (磔刑《たっけい》: エルサレム神殿を頂点とするユダヤ教体制を批判したため、死刑の権限のないユダヤ人の指導者たちによって、その権限のある支配者ローマ帝

国へ反逆者として渡され、公開処刑の死刑である十字架に磔《はりつけ》になって処刑) されました。